

記入例

事業実績を踏まえた検証及び見直しにかかる調書

団体名

せんと自治会

1. 事業名	SNSを活用した安全・安心な地域づくり事業
2. 事業実績を踏まえた検証及び見直しの検討状況について 事業実績を踏まえた事業検証や事業計画の見直しの検討状況について記入してください。	
(1) 検討の実施状況	
令和〇年〇月〇日に、申請団体及び連携団体の関係者（〇名出席）が集まり、事業成果の検証及び次年度に向けた事業の見直しについて、意見交換を実施（報告書は別添のとおり）。	
(2) 検討内容	
① 前回選定された事業は、申請した計画どおりに、実施できましたか。また、得られた成果はどのようなものでしたか（達成状況だけでなく、何が原因で達成できたか又は達成できなかった等の原因分析も併せて記入してください）。	
・今まで、自治会活動に興味がなかった世代に効果的にSNSで情報発信することができたため、若い世代の地域イベントへ参加や運営に関わる人を増やすことにつながった。 ・スマホ講座の参加者が計画より少なかった（計画30名、実績15名）。参加対象者に周知が充分できなかったことが原因と考えられる。	
② 前回選定された事業で、他団体と連携して、どのような成果や課題がありましたか（どのような団体とどのように連携したのか、その成果や課題を具体的に記入してください。連携が進まなかった場合は、何が原因で進まなかったかの原因分析も併せて記入してください）。	
・自治会役員だけでは、考えつかないアイデアを連携先の大学生から提案してもらうことができたため、SNSによる効果的な情報発信の実施につながった。 ・福祉事業所と連携した、健康情報の発信は、十分にできなかった。健康情報の発信の主担当者を明確に定めていなかったため、事業所の担当者と認識の共有があまりできなかったことが原因と考えられる。	
③ 前回選定された事業の実績を踏まえ、当初の計画の目標や手法に関して、なにか気づいた点があれば記入してください。また、連携先を増やす予定等があれば、記入してください。 特に、前回選定された事業の事業実施や達成度等に課題があった団体は、その実績を踏まえて、事業の見直しや修正点を記入してください。	
・スマホ講座の参加者の募集は、自治会内の回覧だけでは、参加対象者に充分周知できなかったため、地域の公民館と新たに連携して、生涯学習講座の受講者に対し、チラシを配布等し、参加を呼びかける予定。 ・スマホ講座の参加者から、SNS活用の必要性を感じないという意見が多くあったこともあり、新たに、防災系NPOと連携を図ることで、災害時を想定した、LINEによる安否確認訓練を新たに実施することで、SNS活用の推進と併せ、地域の災害に対する備えの向上を併せて図る。 ・発信する情報毎に、主担当者を決めておくことが必要と考えたため、今回は、主担当者を決め、情報発信の企画や連携団体等との調整を担ってもらう予定。	

※過年度の本補助金の選定事業の場合のみ、本様式を作成してください。

※枠が足りない場合は、行幅を適宜、広げていただいて記入ください。

※適宜、資料を添付してください。（任意）